

頂点目指す30校

徳島県高校優勝野球大会

①
3
②



写真は3年生の選手とマネジャー

生光学園

特別規定として、3年生だけ試合ごとにベンチ入り選手の入替えができる。3年生は県内最多の28人。斎藤主将は「例年は大会前から一部はサポートに回っているが、今年は全員にチャンスがある。夏の甲子園がなく、なつて悔しいが、全員が最後までやり切ろうと頑張っている」と話す。

投手陣は、シユート気味の140キロ前後の直球と、鋭く落ちるツーシームで抑える右サイドの松本が主戦。左腕長井と右腕粟内も安定している。選球眼に優れた1番浜田とヘッドスピードが速い渡邊、逆方向への打撃が得意な斎藤らの中軸を中心に得点を積み重ね、守備は内外野とも堅実だ。チームは現在、2年生を含めて激しい定位置争いを繰り広げており、初

戦で3年生が何人ベンチに入るかは未定。幸島監督は「3年生が一人でも多く試合を経験できるよう、一戦ずつ勝ち進んだら、準々決勝 3-8川島」

【県秋季大会の成績】
10-0小松島
4-3鳴門渦潮
2回戦
1回戦



大所帯貫く全員野球

徳島新聞掲載